



Title	吐魯番出土文物研究会会報 第74号
Author(s)	
Citation	吐魯番出土文物研究会会報. 1992, 74, p. 1-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/78885
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

吐魯番出土文物研究会會報

第 7 4 号

1992年3月1日
吐魯番出土文物研究会

■ 目 次 ■

〈 目 録 〉 吐 魯 番 出 土 文 物 関 係 論 著 目 録 (稿) - 1 9 8 9 ・ 中 文 篇 -	
..... 關 尾 史 郎 編	1
〈 紹 介 〉 『 吐 魯 番 出 土 文 書 』 図 版 釈 文 対 照 本 ・ 第 一 冊	
..... 王 素 / 荒 川 正 晴 訳	5

吐魯番出土文物関係論著目録(稿)

— 1989・中文篇 —

關 尾 史 郎 編

【 は じ め に 】

本目録は、本会報第54号(1991年2月1日発行)に掲載した「吐魯番出土文物関係論著目録(稿) - 1988・中文篇 -」に続き、1989年に公表された中文の論著を収録している。新著紹介の特集(第60、61、66号)で紹介済のものに*印を、また1988年以前に公表されたものには※印をそれぞれ付したのをはじめとして、編輯上の原則と形式は、前年までのものに準じた。

掲載した論著の閲覧と蒐集についても前年までと同様に、池田温先生や片山章雄氏をはじめとする本研究会内外の多くの方々からご協力をいただくことができた。記して感謝の意を表します。

I 総 記

- (1) 甘肅省社会科学学会聯合会・甘肅省図書館編『絲綢之路文献叙録』蘭州 蘭州大学出版社

II 図 録(写真・図版)

- (1) 殷孫編『中国書法史図録』上・下巻 上海 上海書画出版社
(2) 顧鳴塘編『游戲娛樂』上海 生活・読書・新知三聯書店上海分店・中華文明図庫
(3) 謝成林編『絵画芸術』上海 生活・読書・新知三聯書店上海分店・中華文明図庫
(4) 中国・新疆画冊編委会・新疆对外文化交流協會編『中国・新疆』烏魯木齊 新疆人民出版社・香港 香港文化教育出版社
(5) 《中国新疆・吐魯番》画冊編委会編『中国新疆・吐魯番』烏魯木齊 新疆人民出版社・香港 香港亞洲出版社

III 資 料(文書・墓誌)

IV 調 査 報 告

- (1) *新疆首届考古專業人員訓練班(李文永)「交河故城、寺院及雅爾湖古墓発掘簡報」『新疆文物』1989年第4期 2~12

V 概說・研究・紹介

A 著書

- (1) 陰法魯・許樹安主編『中国古代文化史』(1) 北京 北京大学出版社
- (2) 王清雲『漢唐文官法律責任制度』北京 中国人民大学出版社
- (3) 王遜『中国美術史』上海 上海人民美術出版社
- (4) 王炳華『吐魯番的古代文明』烏魯木齊 新疆人民出版社・絲路叢書
- (5) 華梅『中国服装史』天津 天津人民出版社
- (6) 高國藩『敦煌民俗學』上海 上海文芸出版社・中国民俗文化研究叢書
- (7) 高國藩『敦煌古俗与民俗流变』南京 河海大学出版社
- (8) 高敏『簡牘研究入門』南寧 广西人民出版社
- (9) 国家文物局古文献研究室編『出土文献研究統集』北京 文物出版社
- (10) 齊吉祥編『中国歷史文物常識』濟南 山東教育出版社
- (11) 齊陳駿『河西史研究』蘭州 甘肅教育出版社
☆所収：「簡述敦煌、吐魯番文書中有關職田的資料」(1986年)
- (12) ※《造紙史話》編写組編『造紙史話』上海 上海科学技術出版社・中国科技史話叢書 1983年11月
- (13) 中国社会科学院考古研究所編『中国古代天文文物論集』北京 文物出版社・考古学專刊甲種第二十一号
☆所収：夏鼐「從宣化遼墓的星圖論二十八宿和黄道十二宮」(1976年)
- (14) 中国食品出版社編『中国酒文化和中国名酒』北京 中国食品出版社
☆所収：張玉忠「葡萄与葡萄酒传入我国的考証」(1984年)
- (15) 張保豐『中国絲綢史稿』上海 学林出版社
- (16) 趙以武『五凉文化述論』蘭州 甘肅人民出版社
- (17) 唐長孺『山居存稿』北京 中華書局
☆所収：「北齊標異鄉義慈惠石柱頌所見的課田與莊田」(1980年)／「新出吐魯番文書簡介」(1982年)／「魏晉時期有關高昌的一些資料」(1979年)／「吐魯番文書中所見高昌郡縣行政制度」(1978年)／「吐魯番文書中所見高昌郡軍事制度」(1982年)／「吐魯番文書中所見絲織手工業技術在西域各地的傳播」(1985年)／「唐肅代期間的伊西北庭節度使及留後」(1980年)
- (18) 任榮『中国古代雕塑漫談』上海 上海教育出版社・中学生文庫
- (19) 方英楷『新疆屯墾史』烏魯木齊 新疆青少年出版社
- (20) 牟發松『唐代長江中游的經濟与社会』武漢 武漢大学出版社
- (21) 劉俊文『敦煌吐魯番唐代法制文書考釋』北京 中華書局
- (22) 梁家勉主編『中国農業科学技術史稿』北京 農業出版社

B 論文類

- (23) 殷晴「古代新疆商業的發展及商人的活動」『新疆文物』1989年第3期 32～47
☆再録：『西北民族研究』1989年第2期 138～153
- (24) 殷晴「唐代于闐的社会經濟研究—出土文書析釈—」『新疆社会科学』1989年第6期 67～80
- (25) *王素「麹氏高昌中央行政体制考論」『文物』1989年第11期 39～52
- (26) *王素「麹氏高昌曆法初探」V(9) 148～180
- (27) 翁俊雄「唐初中原地区均田制实行狀況初探」『北京師範学院学报』1989年第6期 9～18
- (28) (柯城)「絢麗多采的唐代絲織品」平準学刊編輯委員会編『平準学刊』第四輯上冊 北京光明日報出版社 305～306
- (29) 郭平梁「駱賓王西域之行与阿斯塔那64TAM35:19(a)号文書」『西北民族研究』1989年第1期

53~62

- (30) 郭鋒「唐尚書都省簡論」『中国史研究』1989年第3期 31~40
- (31) 紀宗安「活躍在絲綢之路上的粟特人」『暨南學報』1989年第3期 62~70,75
- (32) 魏明孔「唐代對外政策的開放性與封閉性及其評價」『社會科學』(甘肅)1989年第2期 73~77,72
- (33) 姜伯勤「吐魯番敦煌文書所見的突騎施」『文物』1989年第11期 53~59
- (34) *姜伯勤「敦煌吐魯番文書所記的唐代“行客”」V(9) 277~290
- (35) *吳震「唐庭州西海渠之置建與相關問題」『新疆社會科學』1989年第2期 95~106
- (36) *吳震「吐魯番出土高昌某寺月用斛斗帳歷淺說」『文物』1989年第11期 60~69
- (37) 侯燦「四—六世紀高昌奉行年號再探」『新疆文物』1989年第4期 106~118
- (38) 黃烈「談漢唐西域四個古文化區漢文化流行」紀念陳寅恪教授國際學術討論會秘書組編『紀念陳寅恪教授國際學術討論會文集』廣州 中山大學出版社 414~431
- (39) *謝重光「麴氏高昌賦役制度考辨」『北京師範大學學報』1989年第1期 80~88
- (40) 朱睿根「隋唐時期的衣冠服飾」平準學刊編輯委員會編『平準學刊』第五輯上冊 北京 光明日報出版社 293~304
- (41) (朱睿根)「《唐永淳元年西州高昌縣下太平鄉為百姓按戶等貯糧符》小考」『平準學刊』第五輯上冊(前出) 418~420
- (42) 尚衍斌「唐代西域服飾考略」『新疆大學學報』1989年第1期 20~29
- (43) 蔣福亞「均田制實施期間丁男年限不斷縮小的原因」『平準學刊』第四輯上冊(前出) 463~487
- (44) 申潭「國名加吉語的“高昌吉利”錢」朱卓鵬·馬佺特他編『錢幣漫話』上海 上海教育出版社 88~89
- (45) 新疆文物考古研究所(張鉄男)「“鄯善古墓被盜案”中部分文物之介紹」『新疆文物』1989年第4期 34~41
- (46) 齊陳駿「也論唐代西北的屯田」『平準學刊』第四輯上冊(前出) 97~119
- (47) 齊陳駿「李嵩與西涼政權」V(11) 145~163
- (48) 齊陳駿「隋唐西北的屯田」V(11) 178~241
- (49) *薛宗正「以儒學為主體的高昌漢文化」『新疆文物』1989年第1期 34~42
- (50) 蘇瑩輝「“墨離”、“墨離川”、“墨離海”、“墨離軍”考略」『第一屆國際唐代學術會議論文集』臺北 中華民國唐代學者聯誼會 327~335
- (51) 莊申「虢國夫人遊春圖考」『第一屆國際唐代學術會議論文集』(前出) 87~132
- (52) 張弓「唐代的寺莊」『中國社會經濟史研究』1989年第4期 12~19
- (53) 張玉忠「新疆狩獵、畜牧業考古概述」『農業考古』1989年第1期 325~339
- (54) 張広達「論唐代的吏」『北京大學學報』1989年第2期 1~10,23
- (55) 張國剛「唐代府兵淵源與番役」『歷史研究』1989年第6期 145~158
- (56) 趙文潤「從吐魯番文書看唐代西州地租的性質及形態」『敦煌學輯刊』1989年第1期 16~27
- (57) 趙呂甫「從敦煌、吐魯番文書看唐代“鄉”的職權地位」『中國史研究』1989年第2期 9~19
- (58) 趙呂甫「關於唐代前期軍屯田經營管理的幾個問題」『四川師範學院學報』1989年第4期 42~48
- (59) 陳國燦「唐五代敦煌縣鄉里制的演變」『敦煌研究』1989年第3期 39~50,110
- (60) 陳國燦「從敦煌吐魯番學看傳統文化的時代價值」『武漢大學學報』1989年第4期 73~76
- (61) 陳仲安「唐府兵隨身七事辨」中國唐史學會編『中國唐史學會論文集』西安 三秦出版社 183~187

- (62) 陳明光「唐代前期国家預算形態述論」『財政研究』1989年第4期 60～65
- (63) 程喜霖「吐魯番出土文書《唐趙須章等名籍》考釈」『中国社会經濟史研究』1989年第3期 8～14
- (64) 杜紹順「唐代均田地段四至辨疑」『紀念陳寅恪教授國際學術討論會文集』（前出） 555～568
- (65) 凍国棟「論唐代私人手工業、商業部門中的經營管理形式」『許昌師專學報』1989年第1期（未見）
☆再録：「私人手工業、商業部門中的經營管理形式」凍国棟『唐代的商品經濟与經營管理』武漢 武漢大学出版社 1990年3月
- (66) 唐昌東「唐墓壁画的創作技巧和藝術成就」『考古与文物』1989年第5期 130～138
- (67) 唐長孺「唐代的客戶」V（17） 129～165
- (68) 唐長孺「唐代色役管見」V（17） 166～194
- (69) 鄧文寬「敦煌古曆叢識」『敦煌學輯刊』1989年第1期 107～118
- (70) 莫任南「魏晉南北朝時期的中西交通」『湖南師範大學社會科學學報』1989年第4期 70～74
- (71) 傅玫「唐代物質文化綜觀」『南開學報』1989年第4期 31～38
- (72) 楊泓「絲綢之路由中國向日本的延伸」『文物』1989年第1期 68～71
- (73) 楊際平「唐代西州青苗簿与租佃制下的地稅」『新疆社會科學』1989年第1期 79～86
- (74) * 楊際平「麹氏高昌賦役制度管見」『中国社会經濟史研究』1989年第2期 79～87, 94
- (75) 楊際平「有關北朝隋唐均田制立法的幾個問題」『廈門大學學報』1989年第3期 91～97
- (76) 楊富學「回鶻文文書中所見元代畏兀兒租佃契約關係研究」『西北民族研究』1989年第2期 161～172
- (77) 李遇春「吐魯番出土《三国志·魏書》和仏經時代的初步研究」『敦煌學輯刊』1989年第1期 42～47
- (78) 李鴻賓「唐代“作人”考釈」『河北學刊』1989年第2期 73～76
- (79) 李正宇「唐宋時代敦煌渠河渠泉沢簡志—附《唐宋時代敦煌渠諸鄉位置及渠系分布示意圖》—」（二）『敦煌研究』1989年第1期 54～63
- (80) 陸慶夫「吐魯番出土西涼《秀才對策文》考略—兼論漢晉隋唐時期策試制度的傳承—」『敦煌學輯刊』1989年第1期 79～89
- (81) 柳用能「《伏羲女媧圖》」『絲路游』第六期 1989年20～22
- (82) 劉漢東「五涼時期河西人口研究」『社會科學』（甘肅）1989年第4期 85～91, 43
- (83) 劉俊文「唐代獄訟制度考析」北京大學中國中古史研究中心編『紀念陳寅恪先生誕辰百年學術論文集』北京 北京大學出版社 242～266
- (84) 劉進寶「隋末唐初戶口銳減原因試探」『中國經濟史研究』1989年第3期 128～137
- (85) * 廖名春「吐魯番出土文書語詞初探」『新疆文物』1989年第4期 78～86
- (86) * 林聰明「吐魯番文書解讀要點試論」『敦煌學』第14輯 79～89
- (87) 林立平「試論唐代的私人雇傭關係—兼評唐代資本主義萌芽說—」『中國唐史學會論文集』（前出） 124～147

VI 動 向・目 録

A 著 書

- (1) 朱紹侯主編『中国古代史研究入門』鄭州 河南人民出版社
☆所収：陳国燦「敦煌、吐魯番文書与魏晉南北朝隋唐史研究」（1986年）
- (2) 樓宇棟・謝端琚・趙生琛・趙信編『西北五省（區）考古學文獻目録』西寧 青海人民出版社

B 論文類

- (3) (王靈善)「敦煌吐魯番考察研討班簡報」『中国唐史学会会刊』第8期 11~12
- (4) 郝春文「一九八八年敦煌吐魯番學術討論会綜述」『中国史研究』1989年第1期 153~160
- (5) 胡如雷・孫繼民「隋唐五代史」肖黎主編『中国歴史学四十年』北京 書目文献出版社 159~179
- (6) 侯燦「吐魯番学与吐魯番学研究概述」『敦煌学輯刊』1989年第1期 48~62
☆再録：「吐魯番学与吐魯番考古研究概述」侯燦『高昌樓蘭研究論集』烏魯木齊 新疆人民出版社 1990年7月 181~218
- (7) 謝重光「敦煌学和經濟史研究的新收穫－讀《唐五代敦煌寺戶制度》－」『中国社会經濟史研究』1989年第1期 90~92
- (8) (曹旅寧)「剖析封建社会經濟結構變遷的銀匙－《唐五代敦煌寺戶制度》－」『中国社会科学』1989年第4期 222~223
- (9) ※張鴻勳「在探査的道路上」『文史知識』1988年第12期 3~8
- (10) (辺信)「我院十名研究人員参加1988年敦煌吐魯番學術討論会」『敦煌研究』1989年第1期 124,表紙3
- (11) 李錦綉「讀《唐五代賦役史草》」『北京師範学院学報』1989年第1期 53~55
- (12) 「吐魯番学專家——李徵同志」『新疆文物』1989年第4期 1

VII その他

A 著書

- (1) 葛曉音編『中国名勝与歴史文化』北京 北京大学出版社
- (2) 丘菊賢・楊東晨『中華都城要覽』開封 河南大学出版社
- (3) 鄭平・劉道遠・姚蓉兒・惠荻生・谷玥編『青年旅游手冊』(増訂本)北京 中国青年出版社
- (4) 杜広慈主編『絲綢路上』北京 地質出版社・中華大地叢書
- (5) 彭卿雲主編『全国重点文物大全—全国重点文物保護单位五百处—』北京 中国旅游出版社

B 論文類

- (6) 王援朝・拜根興・馬春林・張萍・徐旭「敦煌吐魯番考察日志」『中国唐史学会会刊』第8期 35~72

(以上)

■紹介：『吐魯番出土文書』図版釈文対照本・第一冊

王 素／荒川正晴訳

『吐魯番出土文書』図版釈文対照本（以下、対照本と略称）の第一冊が、このほど文物出版社より出版されることになった。精装・B4版で、全体は序文3頁、凡例2頁、目次29頁、差し込みカラー図版2頁と図版釈文の対照部分473頁からなり、定価は180元である。

この対照本は、五胡十六国時代より高昌国時代までの墳墓から出土した文書の図版を収めている。釈文本（国家文物局古文献研究室・新疆維吾爾自治区博物館・武漢大学歴史系編『吐魯番出土文書』第一～一〇冊、文物出版社、1981～1992年）の第一冊は、十六国時代の墳墓から出土した文書を収め、第二・第三冊は、高昌国時代の墳墓からの出土文書を収めているので、本対照本に扱う文書は、主に釈文本の第一冊より第三冊までを対象としていると言えることができる。ただし、編輯の過程で多少調整を施した部分があり、墳墓と文書配列は、釈文本とは完全には一致していない。例えば、釈文本第二冊に載せる阿斯塔那84号墓の出土文書は、本墳墓から唐代の残欠墓志一方が伴出している（ただし釈文本第二冊 p.204に載せる本墳墓の解説には、墓表は出土していないと注記する）、対照本の第一冊から第二冊に移して収めている。また、釈文本の

第四冊の補遺部分に付載されている阿斯塔那517号墓と同99号墓の出土文書は、両墓ともに高昌国時代の墳墓に属するので、対照本第一冊に移載している〔前者の墳墓の出土文書は、阿斯塔那335号墓文書の後ろに、後者の墳墓の文書は、阿斯塔那155号墓文書の後ろに挿入されている〕。さらに、釈文本第一冊の哈拉和卓96号墓の第六件文書（「北涼眞興六（四二四）年出受麥帳」）と第一三件文書（「伊烏等毯帳」）のように、釈文本で分載されていても同一紙に書かれているものは、対照本では図版は一枚のみを載せ、両文書の釈文を合わせて掲げるようにした。そのため第一三件文書は、第七件文書の前に配されることになり、自動的に第七件文書から第一二件文書は、それぞれ一つずつ後ろに移されることになる。また釈文本第三冊の末尾に付載されている一件の文書（「高昌殘勅」）は、まさに阿斯塔那122号墓（釈文本第三冊、pp. 326-333）より出土したものであるので、本対照本では、本文書を同墳墓の出土文書として本来の位置に配した。なおこの文書は、その内容によって（阿斯塔那122号墓出土の文書の）第二件文書となるので、もとの第二件文書（「高昌崇保等傳寺院使人供奉客使文書」）と第三件文書（「高昌信相等寺僧尼名籍」）は、それに応じて本文書の後ろに移した。

この第一冊目に収める図版は、内容が比較的豊富であり、配列にも大きな特徴がある。整理作業の当初の段階では、その性質が不明なために文書題名を付けるのが困難で、釈文本には収められていない、少なからざる文書残片があった。しかしながら、この対照本ではこれらの図版も全て載せ、既に発表されている各墓出土の関連文書の後ろに配した。また釈文本に収める文書については、文書の反対面に署名や関連する文字がある場合には、解題や注釈によってそれらを通常注記しているので、反対面に別内容の文書が記されていたり、また文書が残欠しているために裏打ちされているのでなければ、本対照本では反対面の図版も併せて載せ、関係する文書図版の傍らに附すことにした。

また本対照本に収める釈文及び注釈は、釈文本に比べると、一定程度の補訂が加えられている。釈文本の第一冊の阿斯塔那1号墓の「韓渠妻随葬衣物疏」は、本対照本では、図版により第八行目の下に「故絹被一領」の五字を増補している。また同じく第一冊の哈拉和卓91号墓の「兵曹條次往守海人名文書」は、本対照本では、図版により、第二、三行の行間に「守十日代到口」の六字を増補した。また釈文本の第三冊の阿斯塔那135号墓は、一件のソグド文文書が出土しており、最近の研究により、これが高昌国の延壽十六（六三九）年買婢券であることが知られるようになった（吉田豊・森安孝夫・新疆ウイグル自治区博物館「麹氏高昌国時代ソグド文女奴隸売買文書」〈『内陸アジア言語の研究』IV、1988年〉）ので、本対照本では特に、この墳墓の解説に適当な改訂を施した。また釈文本第一冊の阿斯塔那39号墓の第一件文書（「前涼升平十一（三六七）年王念賣駝券」）の注釈〔p. 5〕は、前涼が奉用する升平年号が二十年まで続いたとみなしているが、本対照本では新たな材料と成果により、十五年に改めている。

本冊でも、当然なお不備のところがあるかと思う。釈文の形式がいまだ完全には原文書を写していないところがあったり、字体の大小もいまだ完全には統一できていない。ただし、これは全て上に図版を、下に釈文を対照させる原則をとったために起こったことである。この種の事情は、間もなく出版される図版対照本の第二、三、四冊中にもなお認められると思われる。読者のご海容を乞う次第である。

* 本紹介文は、中国文物研究所（北京）の王素氏より本会の事務局宛に送られてきた原稿を訳出したものです。なお文中、〔〕は著者の、また（）は訳者の注記です。

事務局（連絡先） 〒182 東京都調布市国領町5-19-14

荒川正晴方

TEL 0424(81)4633

吐魯番出土文物研究会 (The Research Society for Turfan Relics)